

石川すみえ にじいろ通信

日本共産党板橋区議会議員 | 区政報告 | 2026年4月8日発行号 (No.137)

プロフィール

石川すみえ、区議会議員（2期）、健康福祉委員長、孤独・孤立対策調査特別委員長を歴任。2児のシングルマザー。

1983年生まれ、埼玉県富士見市出身。県立坂戸高校、日本女子大学、同大学院文学研究科史学専攻修了。シルク博物館、立教新座中高、区生涯学習センターで勤務。

子育て広場がなくなったこと、保育園に落ちたことがきっかけで区議会議員に。住民の「リアル」を届けます！

事務所

板橋区成増1-5-24

03 (3975) 5506

はまの電気さんの隣です

公式LINE

いつでもご連絡ください



区基金残高はついに 1,600億円に

最終補正予算(第5号)により、189億円を積み立て、基金総額は1598億円を超え、過去最高額を今年も更新しました。物価高騰対策は「国や都の仕事」と答弁し、区民の厳しい暮らしの実態に背を向けています。区長提案の「ギフトカード配布」などの補正予算(第4号)には、共産党区議団も賛成しましたが、暮らしを支えるにはまったく足りません。再開発は、合意が進まず多額の予算が繰り越され、新年度の保育園待機児の増加が見込まれながら緊急対策も行われず、区職員は未だに過労死ラインの80時間を超える超過勤務の実態が改善されません。もっと区財政を積極的に支出し、区民の願いにこたえる取り組みができたはずで

区議団は、「職員削減と徹底した委託化の推進、施

なんでも相談会

成増の事務所で、毎月、無料の相談会を開いています。どなたのお話も伺います。お気軽に問い合わせを。

4月23日(木) 午後2時～

お一組30分となっています。上記以外の日程でも対応可能です。また、電話のみ、LINEのみの相談も可能です(現状、相談のほとんどは電話とLINEのやり取りで終了しています)。

たむの絵本日記

石川は絵本好き、いたばしは「絵本のまち」ということで絵本の紹介をしています(たむは私の下の子の愛称です)。



今回は『みんなともだち』、童心社。

4月はあたらしい出会いがたくさんありますよね。

こどもも大人も、新しい環境にそれぞれのペースで慣れていきますように。

設の集約化、受益者負担を区民に押し付ける一方で、基金の積み上げを最優先にする姿勢は『未来創造』どころか、一層の区政の硬直化を招くもの」と批判し、住民参加のまちづくりへの転換を求めて区長の予算案に反対しました。可決された新年度予算には、区議団が求めてきた「暑さ対策」として全ての区立小中学校へのウォーターサーバー設置や中学校武道場へのエアコン設置、17年求め続けてきた「産後一か月児&産婦健康診査費用助成」などが盛り込まれました。また、陳情が採択され「女性差別撤廃条約の早期批准を求める意見書」の可決につながったことも大きな前進です。ひきつづき住民要求実現に向け取り組みます。

緊急に、待機児童対策を！

3月18日の予算総括質問において待機児童対策について取り上げました。東京都の第一子保育料無償化の影響で、板橋区でも申し込み希望が増え、待機児童が増える見込みです。板橋区では令和4年度から実質待機児童はゼロになってきましたが、希望する時期に希望する園に入れないこどもは未だ多く、特に成増・赤塚地域では顕著です。

「保育園落ちた」という最悪の事態を避けるために緊急の対策を、という質問に対し、区は「検討する」と答弁。5月閉会中委員会にて、今年度の待機児童の数が報告となります。お困りのことがあればいつでもご相談を！

